

R6.9.12 あおもり創造学 恐山フィールドワーク(恐山・釜臥山展望台)

●本時の活動について

下北ジオパークガイドの川岸朋美さんのガイドのもと、恐山・釜臥山展望台でのフィールドワークを実施しました。行きのバスの中では、ジオパークの言葉の意味や、ロゴマークの4色で示されている4つの地質について学びました。

恐山では菩提寺や宿坊、温泉など1カ所ずつ丁寧に説明して頂きました。また酸性下で生育するコケの生態なども説明していただき、地質・文化・生物環境と幅広く学ぶことができました。

釜臥山展望台では、天候に恵まれ北海道や、太平洋・津軽海峡・日本海も見通せることができ、自分たちが住んでいる地域を眺めることで、地形の特徴や美しい景色を改めて体感する良い機会となりました。

●生徒の活動の様子



「懸衣翁」と「奪衣婆」と「柳の木」の話を聞きました。だんだん真剣な顔になりました。



恐山には、東日本大震災の慰霊の碑があります。必ず自分の手と合う手形があるそうです。



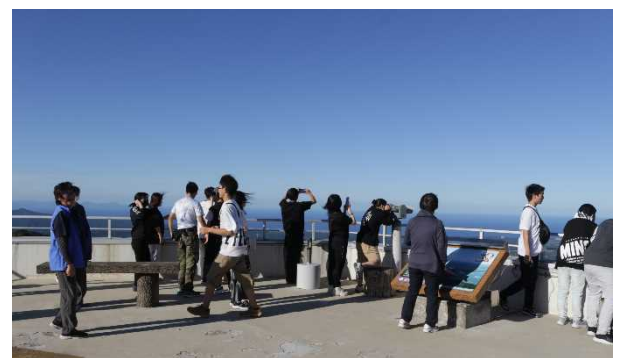
宇曽利山湖がカルデラ湖で、周辺の山々が外輪山だということを実際に見て確認できました。



活火山なので、至る所でガスや温泉が噴出しています。リトマス紙で液性を調べました。



酸性下で生育するコケを観察しました。よく見ると赤い花が咲いていました。



地図通りの地形と、三方の海、そして北海道（函館）まで見渡すことができました。